



## ■ 春の草地造成

暖地では一般に秋播きが普通ですが、寒地、高冷地では春まきが原則で、暖地でも極早春に播種すれば良い混播草地が造成されます。(混播例は右頁)

## ■ 混播草地えライグラス類の追播

夏枯れや冬の障害で、草勢のおとろえた草地には、ライグラス類をバラ播くだけで、見ちがえるほど草生が良くなり、増収となります。

- 早春の施肥量 過石40<sup>\*</sup>。 尿素20<sup>\*</sup>。 塩加15<sup>\*</sup>。
- 追播の種子量

採草地えは	{	マンモスイタリアン	B	2.0 <sup>*</sup> 。
		Hワンライグラス		1.0 <sup>*</sup> 。
放繋牧地えは	{	マンモスペレニアル		1.5 <sup>*</sup> 。
		オーチャードグラス		1.5 <sup>*</sup> 。
		白クローバ		0.5 <sup>*</sup> 。

## ■ 水田・畑の前作に >ライグラス類を 果樹園・桑園下え

生育早いライグラス類は、播種して2カ月めに、リッパな草地となり収かく利用できます。

青刈、乾草、エンシレージの調製に、有効に活用してください。

## ライグラス類の優良品種と用途・適地

草種	利用年限	品種名	出穂			茎葉	用途		適地
			早	中	晩		採草	放牧	
イタリアン ライグラス	1～2年	マンモスイタリアンA		○		巨大型	○	○	混播草地、田畑裏作
		マンモスイタリアンB	○			巨大型	○		混播草地、田畑前作、樹園下
		オオバヒカリ			○	巨大型	○	○	混播草地、田畑裏作
		ワセヒカリ	○				○		混播草地、水田前後作、樹園下
		トットリ系	○				○		水田裏作
Hワン・ ライグラス	2～3年			○			◎	○	混播草地、樹園下
ペレニアル ライグラス	3～4年	マンモス ペレニアル		○		巨大型	○	◎	混播草地、樹園下

# 集約的な多収草地

## 〈優良混播事例〉



集約的な多収草地の混播例 ( ) は優良品種 (10アール当り)

地 域	採 草 地	放 繫 牧 地
北 海 道 東北地方北部	オーチャードグラス (ハイキング) 1.0 <sup>※a</sup>	オーチャードグラス (フィロックス) 1.0 <sup>※a</sup>
	チモシー (ホクオウ) 0.5	チモシー (オムニア) 0.5
	メドウフェスク (レトー) 0.5	ペレニアルライグラス (マンモス) 0.5
	イタリアンライグラス (マンモスB) 0.3	メドウフェスク (レトー) 1.0
	赤クローバ (ハミドリ) 1.0	ラデノクローバ 0.5
	ルーサン (デュビュイ) 0.5	
東北地方南部 北 陸 地 方	オーチャードグラス (ハイキング) 1.5	オーチャードグラス (フィロックス) 2.0
	チモシー (ホクオウ) 0.5	ペレニアルライグラス (マンモス) 1.0
	イタリアンライグラス (マンモスB) 0.3	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.3
	赤クローバ (ハミドリ) 1.0	ラデノクローバ 0.5
	ルーサン (デュビュイ) 1.0	
関 東 ・ 中 部 地 方	オーチャードグラス (ハイキング) 1.5	オーチャードグラス (ポトマック) 2.0
	H・ワンライグラス 1.0	ペレニアルライグラス (マンモス) 1.0
	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.2	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.3
	赤クローバ (ケンランド) 0.5	ラデノクローバ 0.5
	ルーサン (デュビュイ) 1.0	
	ラデノクローバ 0.2	
東 海 ・ 近 畿 地 方	オーチャードグラス (ポトマック) 1.0	オーチャードグラス (ポトマック) 2.0
	トールオートグラス 1.0	H・ワンライグラス 1.0
	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.2	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.3
	赤クローバ (ケンランド) 0.5	ラデノクローバ 0.5
	ルーサン (ウィリアムス) 1.0	
	ラデノクローバ 0.2	
中 国 ・ 四 国 地 方	オーチャードグラス (ポトマック) 1.0	オーチャードグラス (ポトマック) 1.5
	トールオートグラス 1.0	H・ワンライグラス 1.0
	マウンテンブロームグラス (テイネ) 0.5	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.3
	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.2	バーミューダグラス 0.5
	赤クローバ (ケンランド) 0.5	白クローバ (ニュージーランド) 0.5
	ルーサン (ウィリアムス) 1.0	
九 州 地 方	オーチャードグラス (ポトマック) 1.0	オーチャードグラス (ポトマック) 1.5
	トールオートグラス 1.0	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.3
	ダリスグラス 0.5	バーミューダグラス 0.5
	イタリアンライグラス (マンモスA) 0.2	パヒヤグラス 1.0
	赤クローバ (ケンランド) 0.5	白クローバ (ニュージーランド) 0.5
	ルーサン (ウィリアムス) 1.0	

## 混播牧草の施肥基準

播 種 期	播 種 法	目 標 生草収量 *。	施 肥 基 準 (10アール当り、キロ)								
			初年目の施肥全量 (基肥に春～秋までの追肥を含む)					2年目から (春～秋の) 追肥全量 (施肥合計)			
			堆厩肥	石灰	窒素	リン酸	加里	石灰	窒素	リン酸	加里
暖 地 2/中～3/中	散 播	5,000	2,000	100	5	15	5	100	20	10	23
寒 地 4/上～5/上		10,000	2,000	100	20	20	25	100	40	20	40
		15,000	2,000	100	40	30	30	100	70	30	67